



区役所1階にある福祉売店「ふれあいショップアザレア」。ここでは、さまざまな障害のある方が働く、区内の福祉作業所などの手作り品を販売しています。アザレアや商品に込められた思いを紹介しします。

心と心を結ぶ

## ふれあいショップ アザレア

アザレアってどんなところ？

### 誰もが活躍できる地域を支える福祉売店です

(一財)中野区障害者福祉事業団が運営。区内の障害者施設など計20団体から商品を預かり、販売しています。関わる団体が多く、商品の種類が幅広いのが特徴。売り上げは、福祉作業品の更なる生産につながります。

区は、障害の有無に関わらず、誰もが地域の一員として安心して暮らせるよう、区役所1階の場所を提供して、福祉売店の取り組みを応援しています。

障害のある方が作ったぬくもりのある商品を手取ることで、支援を届けませんか。



▲魅力的な商品の数々

### アザレアを運営している方に聞きました

#### 作り手と買い手をつなぎたい

「作り手の思いを買い手に伝える」「消費者目線の声を作り手に届ける」。こうした双方向の橋渡しは、私たちの役割の一つです。例えば、マスクケースや大きめの手提げバッグは、お客さんの要望を受け、団体に声を掛けたことがきっかけで、作られるようになったんです。

また、時折、各福祉作業所などによる出張販売を行っています。障害がありながら働く方にとっては、おつりのやり取りなどのちょっとしたことでも貴重な経験。作ったものを目の前で買ってもらえることが、仕事のモチベーションにもなっているんですよ。

#### みなさんのためのアザレアに

切手や印鑑など、一見すると福祉売店と結び付かないものも置いているんです。商品は約800種類。「こんなものまであるんだ」と驚かれることもありますね。

障害のある方の働く場を守るため、アザレアをみなさんに利用してもらいたい。少しでも多くの方に足を止めてもらうため、ナカノさんグッズなど福祉作業所の製品以外も扱うなど工夫を重ねてきました。「商品を作った方の支えにもなるから」と何度も来てくださるお客さんを大切にしながら、アザレアを知らなかった方にも「買ってみようかな」と思ってもらえるよう、今後も力を尽くします。

作り手と買い手の思いが結ばれる場所です

中野区障害者福祉事業団 田嶋さん



## 私たちが心を込めて作っています

手作りバッグが人気  
**東部福祉作業センター**  
 (NPO 法人ハッピースマイル)



反物は工程が多く難しいですが、たくさんの方々に教えてもらっています。友達が商品の販売会に来てくれて、周りの人にも広めてくれたことがとてもうれしかったです。

石井さん



### 丁寧な仕事と感性が生み出す、個性が光る一品

身体、知的、精神など、さまざまな障害のある方が通い、一人ひとりに合った作業を行う場です。働くことで自立と社会参加を目的としています。寄付された着物や布を裂いて利用する裂き織りで、小物やバッグ、マフラーなどを作製。織り機に縦糸を通すところから反物になるまで全て丁寧に作り、完成品はどれも個性あふれた一点物です。



焼きたてパンをお届け  
**ふらっとなかの**  
 (社会福祉法人愛成会)



ここで働き始めて8年ほどになります。私が好きなのはあんぱん。あんこを上手に包みます。「おいしい」と言われると照れちゃうけどうれしい。パン作りが大好きです。

池田さん



### 作る人・食べる人が共に笑顔になる、思いの詰まった味

「人と人がつながり支え合う」ことを大切に、障害のある方が働きながら、一人ひとりの楽しみを見つける場所です。パン作りでは、得意なことを生かせるよう、写真付きの手順書や生地を伸ばす大きさが分かるシートを利用するなどの工夫で、自分で作ることを大切にしています。



### SHOP info 福祉売店「ふれあいショップアザレア」

営業時間 平日午前9時30分～午後4時30分

パンの販売 火・木・金曜日(祝日を除く)午前11時30分～午後3時30分

☆火・木曜日は「ふらっとなかの」、金曜日は「スワンベーカーリー」の手作りパンを販売。売り切れ次第終了

出品団体の主な商品について詳しくは、中野区障害者福祉事業団HPで確認を



### ズームアップ! 出張販売会

月1~3回程度、不定期に開催。アザレアの一角で、作業所で働いている方が接客・販売します。



◀コロニー中野の「ころ・ころ」によるパンの販売会(昨年12月16日)。左から、パンを作った森岡さん、上國料さん。商品の袋詰め・手渡しなどを行いました